

事務事業 No./名 称	■サービス部門 まち-08 都市景観形成事業 □支 援 部 門						
主管課	都市景観課	関連課					
分野名	都市景観						
目標 (目標値)	鎌倉らしい都市景観の形成の推進						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源 状 況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	5,476	3,282	6,522			
	(国・県)						
	(負担金等)			1,681			
	(一般財源)	5,476	3,282	4,841			
	人員配置数	6.5	7.5	7.5			
	人 件 費(千円)	51,732	64,602	65,960			
事務事業 運営経費	協 働 の パートナー	景観形成推進委員	景観形成推進委員	景観形成推進委員			
	違反屋外広告物除却協力員	違反屋外広告物除却協力員	違反屋外広告物除却協力員				
	違反屋外広告物除却協力員	違反屋外広告物除却協力員	違反屋外広告物除却協力員				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	総事業費(千円)	57,208	67,884	72,482			
	市民1人当 りの経費(円)	323	383	409			
	対象者1人 当りの経費(円)						
団体名⇒							
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
屋外広告物の未申請物件数(件)	◎	目標値	159	147	135	123	87
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	145	134	120	78	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止							
都市景観形成事業	5,476千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	鎌倉らしい都市景観の形成の推進													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	地域の特性を生かした景観づくりを進めていくため、市民や事業者等との協働により、各種制度の普及、啓発等を推進する必要がある。 違反屋外広告物については除却協力員制度を創設し、一定の成果を挙げているが、関係機関との更なる協力体制による対応が必要である。		
課題解決のための取組	市民との協働による親子景観セミナーや景観づくり賞の募集などの普及啓発事業を実施した。 県下一斉違反屋外広告物除却キャンペーンに加え、警察署と連携し、定期的に除却キャンペーンを実施した。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	若宮大路景観協議会の設立。 違反屋外広告物、未申請広告物への対応。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続C:改善・見直しD:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		 B	景観整備機構や市民等との協働をさらに推し進め、景観協議会の早期設立を目指す。 また、違反屋外広告物除却キャンペーンの実施など、意識向上のための普及啓発を行うほか、屋外広告物の適正な規制・誘導策を検討する。	課長等名
		③有効性	○				都市景観課長
		④公平性	○				大場将光

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
都市景観形成事業	主な個別事業	846 景観審議会委員報酬	306	226	○	○	○	○
		846 景観重要建築物等調査委託料	315	0	△	○	○	○
		846 違反広告物除却業務委託料	416	415	○	○	○	○
		846 行政刊行物販売委託料	70	33	○	○	○	○
		846 景観重要建築物等助成金	3,650	3,650	○	○	○	○
		846 景観形成協議会活動助成金	30	0	△	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							